

会員各位

2022年度 第2回(通算116回) 造粒分科会 技術討論会 開催のご案内

一般社団法人	日本粉体工業技術協会	造粒分科会	
コーディネーター	中央大学教授		村瀬 和典
副コーディネーター	東京都立大学大学院准教授		武井 孝
代表幹事	(株)ダルトン		小泉 一郎
担当幹事	日本アイリッヒ(株)		小川 嘉康
	(株)菊水製作所		安宅 功一

テーマ：「セラミックスの造粒手法と測定技術」

造粒技術は数多くの分野において、その技術を支えています。当分科会では「粒を造り、粒を制御する」という観点から、粒や粒子の制御に関わる業界先端技術を討論の場に挙げることによって、参加された皆様が普段抱えている問題をブレークスルーするヒントとして頂きたいと活動しております。

今回は「セラミックスの造粒手法と測定技術」というテーマで、造粒を行うことで粉に新たな機能を付加する技術、ノウハウ、実例等について、中央大学講義室をお借りして技術討論会を行います。是非、ご参加ください。

1. 日 時：2023年3月3日(金) 11:00～17:50 (受付開始 10:30～)

2. 会 場：中央大学 後楽園キャンパス (3号館3階3300講義室)

(新型コロナウイルスの感染状況により Web 開催となる場合がございます。)

3. プログラム (予定)

(1) 開会挨拶・連絡事項 (11:00～11:10)

(2) 講演1 (11:10～12:00)

「セラミックスプレス成形における噴霧乾燥顆粒の形態及び密度制御に関する研究」

法政大学 生命科学部環境応用化学科 スラリー工学研究所 研究所所長 森 隆昌 氏

セラミックスプレス成形における噴霧乾燥顆粒の形態及び密度を制御するために、種々のスラリーの流動性及び充填性を評価し、噴霧乾燥して得られた顆粒の形態及び密度との関係を調査した。噴霧乾燥顆粒の特性制御においてはスラリーの充填性の評価が重要であることを報告する。

(3) 昼食 (12:00～13:00) ※お弁当を準備しております。

(4) 講演2 (13:00～13:50)

「液中造粒法によるジルコニアマイクロビーズの製造」

九州大学 名誉教授 平島 剛 氏

選鉱、選炭、セラミックス製造、医薬品製造、廃棄物処理など多くの分野で注目を集めている液中造粒法について概説するとともに、液中造粒法による微粉碎用ジルコニアマイクロビーズ製造について紹介する。

(5) 講演3 (13:50～14:40)

「材料押出 (MEX) 方式の3Dプリンター向けセラミックス・金属コンパウンドの紹介」

第一セラモ株式会社 営業部 専門課長 和田 誠 氏

粉末射出成形 (PIM) の粉末と樹脂の混練およびバインダー設計技術を応用し、材料押出 (MEX) 方式のペレット式3Dプリンター用材料 (セラミックス・金属) に展開した。本方式のプロセス、特長、各種粉末への対応事例について紹介する。

休憩 (15分)

(6) 講演 4 (14:55~15:45)

「バインダージェット方式 3D プリンター向けセラミックス造形材 BRIGHTORB®」

AGC セラミックス株式会社 アディティブマニュファクチャリング室 マネージャー 村山優 氏
セラミックス造形材である BRIGHTORB®について紹介する。

本造形材は印刷、焼成することで大型かつ複雑形状のセラミックスを製作可能であり、鋳造用鋳型およびアート・デザイン分野で活用されている。

(7) 講演 5 (15:45~16:35)

「ケミカルルーピング技術とその用途技術の紹介」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター

CO2 資源化研究チーム シャーマ アトウル 氏

ケミカルルーピング技術は、ガス分離工程が不要であるという利点があります。これは、特別に製造された粒体を循環させることによって達成されます。当方研究チームは、バイオ由来資源から人工・天然の酸素キャリアを用いて発電し、CO2 を分離する化学燃焼プロセスを開発しています。ケミカルルーピング技術を用いたカーボンリサイクルおよびネガティブエミッション技術を紹介しします。

(8) 講演 6 (16:35~17:25)

「顆粒粒子の粒子・粉体特性評価による噴霧造粒乾燥工程（スプレードライ工程）の考察」

スペクトリス株式会社 マルバーンパナリティカル事業部 アプリケーション部

部長 笹倉 大督 氏

各種製造工程で得られる粉体、粒子の各種特性は、実工程内を反映する一種の「マーカー」としての情報と機能を持つと考えている。本講演では、噴霧造粒乾燥（スプレードライ）法で得られた顆粒体特性から工程を考察した数種の事例を紹介する。

(9) 閉会の挨拶・連絡事項 (17:25~17:40)

4. 定 員：50 名

5. 参 加 費：日本粉体工業技術協会会員 3,000 円、 非会員 4,000 円

6. 申込締切：2023 年 2 月 17 日(金)（定員になり次第締切りますので、お早目にお申込み下さい。）

7. 申込方法：参加申込書に記入いただき、事務局あてに FAX または E-Mail にてお申込み下さい。

【申し込み先：造粒分科会事務局】 ㈱ダルトン 粉体機器事業部 鈴木 有理沙

E-Mail：a-orihara-dykr@dalton.co.jp FAX：072-947-5221

8. 参加費支払：お申込受付後、受領書と一緒に請求書を E-Mail にてお送り致します。

下記銀行口座へ 2023 年 2 月 21 日 (火) までにお振込み下さい。

京都銀行 新石切支店 普通口座 No. 1065164

口座名：小泉 一郎 (コイズミ イチロウ)

※振込時の振込名に、「会社名+姓」の記載をお願いします。

(複数名分を一度に振込む場合は、代表者名の記載をお願いします。)

※振込手数料は、貴社にてご負担願います。

※お振込み頂いた参加費は返金できません。欠席の場合は代理の方のご参加をお願い致します。

9. 注意事項

新型コロナウイルスの感染状況によっては、Webでの開催、中止または延期となる可能性があることをご了承お願いいたします。

ご来場時には、マスクの着用、検温にご協力いただき当日発熱等体調不良の場合、ご参加をお断りさせていただきます。

状況は、上記 E-Mail でお問い合わせ頂き講演会場への直接お問い合わせはご遠慮願います。

下記の参加申込書に記入いただき、下記事務局宛に FAX または E-Mail にてお申込み下さい。

以上

----- 参加申込書 -----

FAX : 072-947-5221 / E-Mail : a-orihara-dykr@dalton.co.jp

(株)ダルトン 粉体機器事業部 鈴木 有理沙 宛

2022年度 第2回(通算116回)造粒分科会 技術討論会参加申込書

会社名			
(フリガナ) 氏名			
部署・役職			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail		会員種別	1.協会会員 2.非会員
入金予定日		領収書	1. 要 2. 不要
連絡欄*			

- ※ 事務処理上領収書の発行が必要な方は、領収書欄の「要」に印をつけて下さい。当日会場受付もしくは郵送にてお渡します。
- ※ E-mail アドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。分科会開催のご案内のため、是非ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。
- ※ 個人情報の取扱いにつきましては、当協会規定にもとづき、日本粉体工業技術協会からの案内、分科会の運営及び管理にのみ使用致します。詳細につきましては、下記アドレスをご参照お願い致します。
個人情報のページ <http://www.appie.or.jp/privacy>